



地域子育てネットワークだより

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局

650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県県民生活部男女青少年課

E-MAIL : danioseishounen@pref.hyogo.lg.jp 電話 : (078) 341-7711 (内線 2753)

令和7年4月号



「子育て応援ネット」活動紹介

各市町の子育て応援ネットの活動内容をご紹介します。ご参考にしてみてください！
※ 掲載していない市町のご取組についてのお問い合わせは兵庫県男女青少年課もしくは各県民局・県民センターにお問い合わせください。

神戸県民センター

神戸市

- ☆ こどもの食育 ☆ こども救命・救急
- ☆ 親子体操・親子ヨガ ☆ 人形劇・工作

阪神南県民センター

芦屋市

- ☆ スタイづくり
- ☆ 子育てに関する情報提供(赤ちゃん訪問)
- ☆ トライやる・ウィークの体験活動の提供

東播磨県民局

明石市

- ☆ 子育て支援に関する情報交換や講演会等

高砂市

- ☆ 登下校の声かけ・見守り、あいさつ運動

播磨町

- ☆ 3世代交流・イベントの開催・あいさつ運動

稲美町

- ☆ 登下校時のパトロール(声かけ・見守り)

西播磨県民局

相生市

- ☆ 声かけ・見守り活動とチラシ・グッズの配布

たつの市

- ☆ こども食堂の開催・イベント開催による世代間交流や、児童虐待防止の啓発活動

赤穂市

- ☆ 子育て支援者ステップアップ講座の開催

宍粟市

- ☆ 子育てイベント等を活用した声掛け・見守り活動の実施

太子町

- ☆ 子育てイベントの人形劇を開催

上郡町

- ☆ チラシ作成・グッズ配布による啓発活動

丹波県民局

丹波市

- ☆ 子育て家庭への声掛け・見守り活動の実施
- ☆ 子育て応援研修会の開催
- ☆ 子育てイベント(人形劇)の実施

阪神北県民局

伊丹市

- ☆ 子育て支援に関する交流会や講座

宝塚市

- ☆ 啓発グッズの配布等を通じた啓発活動

三田市

- ☆ 日常の声かけ・見守り、子育てイベント

中播磨県民センター

姫路市

- ☆ 各種団体との情報交換や勉強会
- ☆ 季節のイベントやお誕生日会
- ☆ 音楽遊び、フラワーアレンジメント等

北播磨県民局

西脇市

- ☆ 大型量販店で万引き防止の呼びかけ活動

三木市

- ☆ 親子料理教室等の実施

小野市

- ☆ 下東条子育て協議会で情報交換や研修会

加西市

- ☆ 登下校時の声かけ・見守り活動

加東市

- ☆ 会員及び子育て世帯向け講演会の開催

多可町

- ☆ 「たかっこフェスタ」「子育て応援公演」など子育てイベントの実施

但馬県民局

香美町

- ☆ 登下校時の声掛け・見守りの啓発活動
- ☆ 青少年育成町民集会 ☆ 情報誌づくり

淡路県民局

南あわじ市

- ☆ 登下校時等のあいさつ・声掛け活動
- ☆ 子育て関係等の相談活動
- ☆ 親子ふれあいイベントの実施
- ☆ 子育て家庭応援推進員の研修会の開催

SOS キャッチ研修紹介～阪神北県民局～

各県民局・県民センターでは、子育て応援ネット活動の支援のためSOSサインのキャッチのポイントや事例等を学習する研修会を開催しています。その中から令和6年5月30日に行われた阪神北県民局での研修の一部を紹介します。

“ながら見守り”による安全・安心なまちづくり

株式会社まちづくり計画研究所 代表取締役 今泉 重敏 氏

「ながら見守り」とは、日常生活を送る中で、防犯の視点を持って子どもたちを見守る行動です。見守りの対象は主に“子供(特に小学生)”と位置付け、原則として登校時間や下校時間に合わせて行います。

今の時代、防犯ボランティアだけでは、子どもの安全を守り切れないため、男女問わず若者から高齢者まで、その地域で暮らしている方や働いている方に積極的に取り組んでほしい。より多くの人に行ってほしいので、原則として登録等は必要としません。

日常の様々なシーンで「ながら見守り」があります。例えば、



① **家にいながら**通学中や公園等で遊ぶ子供を見守る：洗濯物や布団を干しながら、庭の花に水をやりながら・草取りをしながら、玄関の掃除をしながら。

② **移動しながら**通学中や公園等で遊ぶ子供を見守る：通勤・通学・通院しながら、ウォーキングやランニングをしながら、買い物しながら、犬の散歩をしながら。

③ **仕事しながら**通学中や公園等で遊ぶ子供を見守る：農作業や工事をしながら、配達をしながら、店番をしながら等。

緊急時は警察に通報しますが、内容によっては行政や自治会

関係者に知らせることが大切です。「ながら見守り」に取り組んでいることを周囲に知らせて防犯抑止につなげるために、徒歩や自転車の場合、腕章・たすき・バッジなどを装着する、車にはステッカーなどを掲示することを推奨します。子どもに声をかけるときは、不審者と間違われぬように腕章などを装着し、子どもが驚かないように、後ろから大声ではなく正面から声をかけるとよいでしょう。

「ながら見守り」を地域に広め、一人でも多くの住民に知ってもらい、「ながら見守り」に取り組むようにしてほしい。特に自治会、町内会、まちづくり協議会など住民に身近な団体に、「ながら見守り」の存在を伝えてほしい。

そして多くの人に参加いただき、大切な地域の子どもたちを守りたい。



(講師：今泉重敏氏)



自然へのすなおな態度を大切に

県立こども病院名誉院長 中村 肇

作家司馬遼太郎さんは、1999年に小学校教科書用の書き下ろし作品として、「21世紀に生きる君たちへ」を子どもたちに書き遺しています。

その一部を紹介すると、「人間は、自分で生きているのではなく、大きな存在によって生かされている。」と、中世の人々は、ヨーロッパにおいても、東洋においても自然に対してへりくだって考えていたのです。

この自然へのすなおな態度こそが、21世紀への希望であり、君たちへの期待でもあります。そういう素直さを君たちが持ち、その気分を広めてくれると、21世紀の人間は、お互いに尊敬し合うようになるのです。



A I の出現は、人間が自然の一部であることを忘れさせようとしています。自然への畏怖(いふ)の念どころか、いかに自然を克服するかが至上命題のように現代人は振る舞っている気がします。

地球が汚れてしまえば、他の星へ移動すればよいとの考えでは、もう人間とは言えないでしょう。